

大隈重信記念館だより



第 38 号 令和 4 年 12 月 8 日発行
大隈重信記念館 佐賀市水ヶ江 2-11-11
TEL・FAX:0952-23-2891
<http://www.okuma-museum.jp>



暑かった夏に終わりをづけ、間もなく秋も終わり、冬へと季節も移って行きます。当記念館の来館者の皆さまの多くは、初めて来館された方で、遠くは関東や関西など九州以外の遠方から来館される方もたくさんいらっしゃいます。また、近くは県内は勿論ですが、福岡県など隣県から車で来られる事が多いようです。佐賀県内の皆さまも、郷土の偉人大隈侯の輝かしい功績を知ることができる当記念館へ、是非ご来館ください！



秋の見学ラッシュ・・・



大隈重信記念館には、年間を通して県内外から多数の方々が入館されますが、中でも9月から11月の秋の行楽シーズンであるこの時期は、一般の方々をはじめ小学生や中学・高校生など、郷土の偉人について学ぶ機会にと、生涯学習を目的とした入館者がとても多い時期です。明治期の日本において、数々の先進的な業績を残した大隈侯を学ぶ機会を作ってもらっています。

特に、今年は日本に鉄道が開通して、ちょうど150年を迎えます。東京の新橋から横浜まで蒸気機関車が走った当時の鉄道の遺構（海の中に線路を通した）「たかなわちくてい高輪築堤」が、東京で見つかり話題となりました。その鉄道の敷設に大隈侯は多大に尽力し、現在鉄道は主要な交通機関として、私達の生活に無くてはならないものとなっています。



2022 早稲田大学卒業生イベント

稲門祭 が盛大に開催されました！

去る10月23日（日）に大隈侯が創設した東京の早稲田大学において、2022稲門祭が行われました。全国各地から早稲田大学の卒業生が母校に集合。当日は天気も良く、コロナウイルスで2年間開催が見送られ、3年振りの開催ということもあり、沢山の人が賑わいました。

卒業生はもとより、家族や友人、早稲田ファンなど1万人以上が集い、全国各地から出展されたブースで各地の特産品や早稲田関連グッズなどを買い求めていました。また、キャンパス内のメイン通りにある大隈侯の大きな銅像の前で、記念撮影をする皆さんの姿がとても印象的でした。

一方、先輩方を歓迎しようと、在校生もマーチングやフラダンス、歌やパフォーマンスなど熱烈歓迎！秋の好天の下、キャンパス内は早稲田一色に染まりました。佐賀からは、佐賀県・佐賀市（大隈重信記念館）・唐津市（早稲田佐賀）がそれぞれブースを出店し、大隈侯生誕の地である佐賀をPRしました。



好評でした「重ねおしスタンプラリー」



今年、日本の鉄道の始まりから150年を迎えることから、佐賀県が2弾に分け、「重ねおしスタンプラリー」と銘打って事業に取り組みました。

3箇所（大隈重信記念館・県立博物館・早稲田佐賀）に設置されたスタンプを重ね打ちすることで、1枚の絵が完成するというもので、多くの来館者の皆さんが、珍しい企画のスタンプ押しにチャレンジしていました。